

## 野生イノシシへの豚コレラ経口ワクチンの散布・回収（2回目）結果について

9月から実施した2回目の野生イノシシに対する豚コレラ経口ワクチンの散布及び回収の状況についてお知らせします。

### 1 経口ワクチンの散布・回収状況

- (1) 9月24日～10月24日に、県内8市町、204箇所、猟友会や実施隊等地元関係者、市町職員、県職員で編成した作業班41チームで経口ワクチンを6,000個散布しました。
- (2) 9月30日～10月30日に回収作業を行い、野生イノシシの摂取痕があったもの(51.0%)と未回収(14.3%)を合わせた想定イノシシ摂取率は65.2%となりました。

### ○経口ワクチンの散布・回収状況（2回目）

散布市町 (注1)	散布 地点数 (地点)	散布 個数 (個)①	回収 個数 (個)	回収状況		未回収 個数 (注3) (個)③	想定イノシ シ摂取率 (②+③)/①
				イノシシ 摂取痕 あり②	それ 以外 (注2)		
富山市、砺波市、小矢部市、南砺市、立山町、氷見市、滑川市、上市町	204	6,000	5,144	3,057	2,087	856	65.2%
1回目と2回目の累計	353	9,000	7,732	4,704	3,028	1,268	66.4%

注1：氷見市、滑川市及び上市町については、今回の散布が初回となります。

注2：「それ以外」とは、①手付かず、②ワクチン無傷、③イノシシ以外の動物の噛痕ありのもの

注3：「未回収」とは、イノシシがワクチンを全て食べたこと等により、ワクチン包みが見つからなかったケース

### 2 今後の対応

- (1) ワクチン散布エリアで捕獲したイノシシについて、引き続きサーベイランス（ウイルス学的・血清学的検査）を実施。
- (2) 次年度の散布計画については、今後、本年度の実施状況等を踏まえ、国や関係機関と協議。

■ 豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。  
また、感染豚の肉が市場に流通することはありませんが、万が一、感染豚の肉を食べても健康に影響はありません。